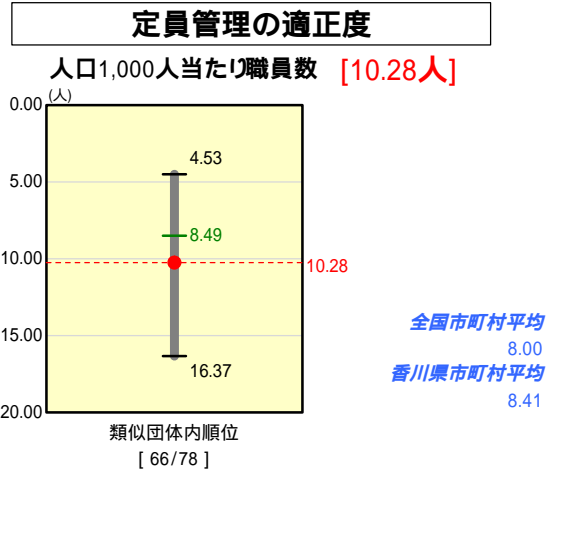
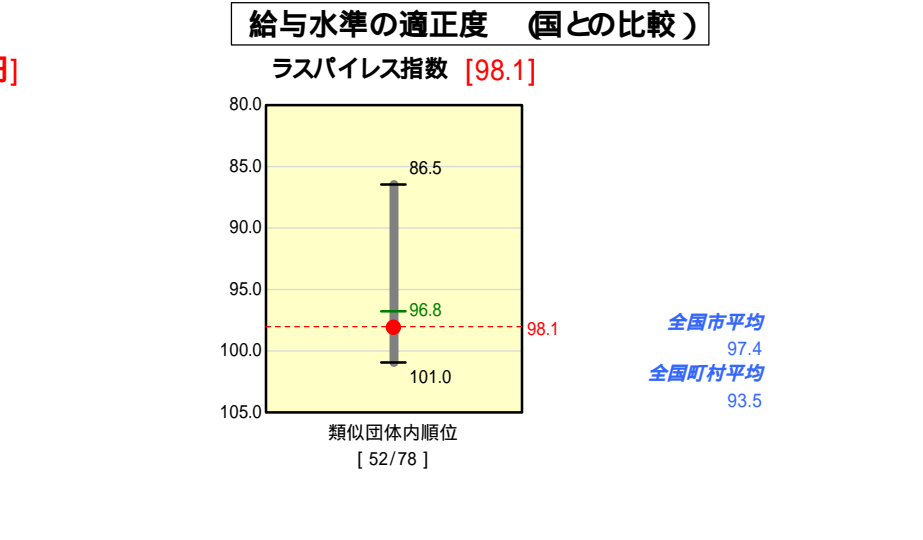
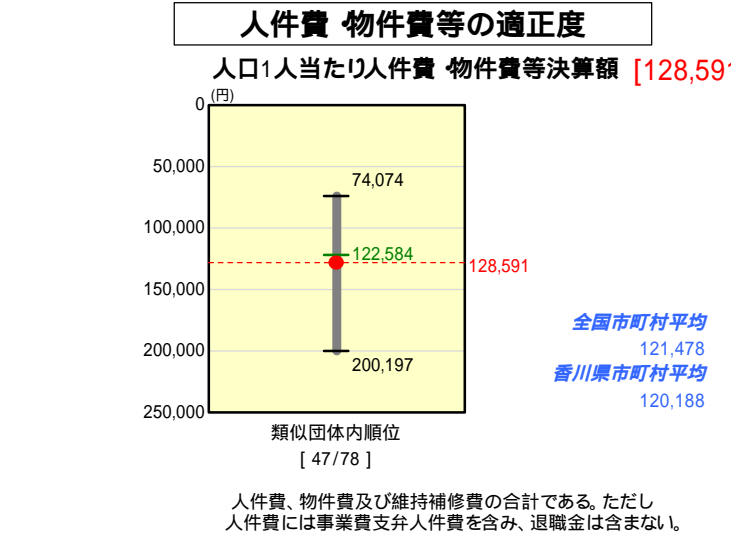
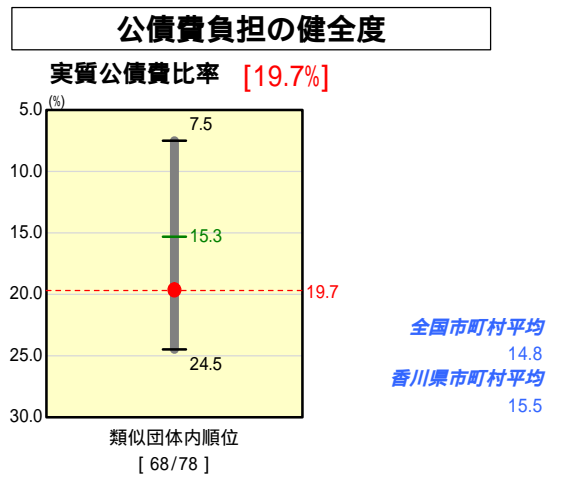
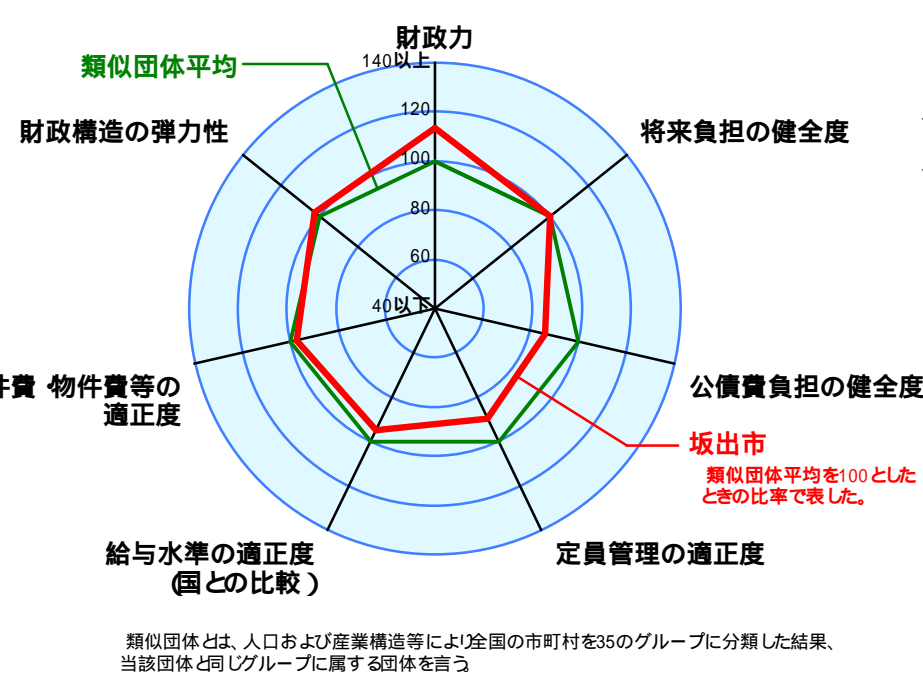
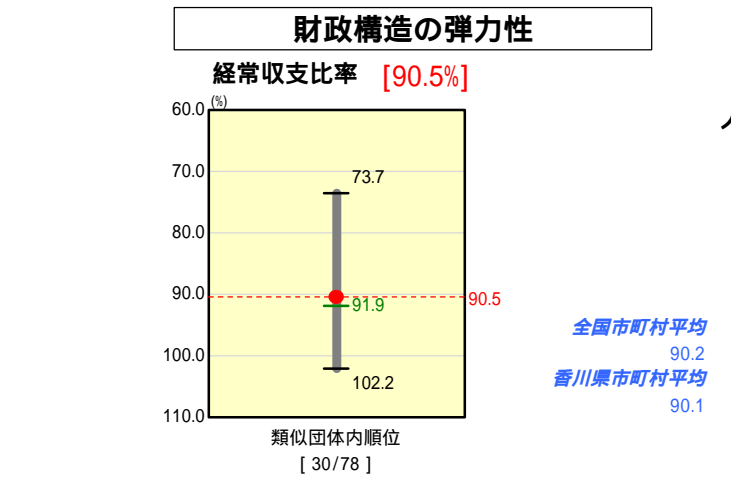
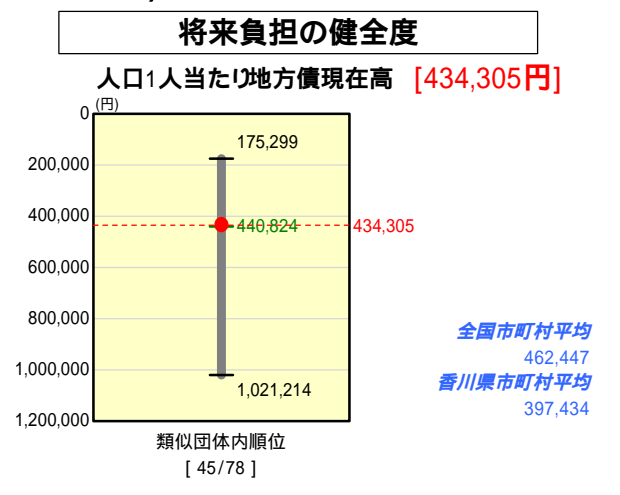
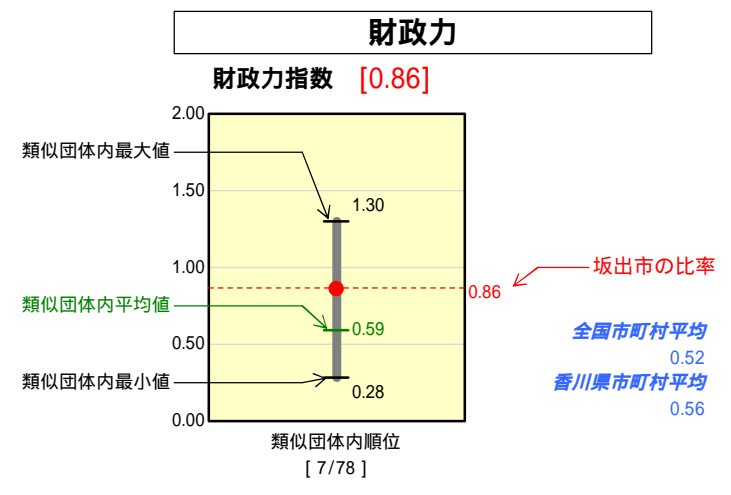


# 市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

## 香川県 坂出市

人口	58,655	人(H18.3.31現在)
面積	92.46	km <sup>2</sup>
歳入総額	22,193,468	千円
歳出総額	21,829,453	千円
実質収支	293,005	千円



### 分析欄

**財政力指数**・・・本市では臨海型の埋め立て工業地帯を有していることなどから、類似団体平均値を大きく上回っている。しかしながら長引く景気低迷の影響もあり、近年は低下傾向にある。

**経常収支比率**・・・前年と比較して、定年による退職金が減少したことや、景気回復基調に伴い市税が増加したこと等により比率が4.4%改善した。今後、定年退職者の増加、また高齢化による老人保健や介護保険特別会計への繰出金の増加が危惧されるが、定員適正化計画や公債費負担適正化計画等の取り組みを通じ財政基盤の強化に努める。

**人口1人当たり人件費・物件費等決算額**・・・類似団体平均とほぼ同額であるが、人件費が他の類似団体に比べ高い。第二次定員適正化計画(H17～26年度)の実施により今後10年間で職員数約20%の削減を目標に取り組む。

**人口1人当たり地方債現在高**・・・類似団体平均とほぼ同額。平成17年度にて坂出駅周辺整備主要プロジェクト等の大規模事業が終了しており、今後は大規模な事業を実施せず、新規発行を極力抑制し将来に過大な負担を残さないよう努める。

**実質公債費比率**・・・類似団体平均を上回っている。主な要因は、平成17年度まで実施した坂出駅周辺整備主要プロジェクト等の大規模な建設事業に係る公債費の増嵩、また下水道事業や病院事業への多額の繰出金が影響している。平成18年度に策定した公債費負担適正化計画の実施により、市債の新規発行を抑制することで平成24年度までに実質公債費比率が18%を下回るよう努める。

**ラスパイレズ指数**・・・本市の給与については、国家公務員の取り扱いに準じつつ、香川県、近隣市町の動向を見守りながら、その適正化に努めてきたところである。ラスパイレズ指数の動きを追ってみると、平成14年10月1日より高齢層職員(65歳)昇給停止の完全実施や、より厳格な職務職階制度の運用を図るべく一般職の7級への昇格制度を廃止(平成15年4月1日より)するなど、給与の適正化を行ったこと等により、昭和61年4月1日現在105.2から順次下げ始めて、平成18年4月1日現在98.1となっており、国家公務員を下回る水準まで低減している。さらに、平均4.8%の給与水準引き下げや査定昇給制度の導入などを柱とした給与構造抜本的改革を平成19年4月より実施し、更なる給与の適正化を推進する。

**定員管理の適正度**・・・本市では他市に先駆けて独自に行財政改革に取り組み、平成3年度から平成16年度までに普通会計職員数の4分の1に相当する210人を削減した。さらに、平成18年11月には、先の定員適正化計画(平成3～16年度)に引き続き、行政サービスを低下させることなく、今後10年間でさらに職員数の約20%を削減し、普通会計職員数500人体制(平成3年4月1日の839人と比較すると約40%の削減)を目標とした第二次定員適正化計画(平成17～26年度)を策定し、大きな仕事をするための小さな市役所の実現に向け、更なる定員管理の適正化を推進している。